大阪市立学校における暴力行為・いじめ認知・不登校数（令和3～5年度）

資料【C-1】

令和6年10月31日

1 暴力行為発生件数

年度	小学校						中学校					
	件数			比率1000人当たり			件数			比率1000人当たり		
	全国	大阪府	大阪市	全国	大阪府	大阪市	全国	大阪府	大阪市	全国	大阪府	大阪市
令和3年度	48,138	4,076	102	7.7	9.6	0.9	24,450	3,032	308	7.5	13.6	5.9
令和4年度	61,445	5,386	192	9.9	12.8	1.7	29,699	3,927	410	9.2	17.7	8.0
令和5年度	70,009	5,854	165	11.5	14.1	1.5	33,617	4,498	403	10.4	20.5	7.9

2 いじめ認知件数

年度	小学校						中学校					
	件数			比率1000人当たり			件数			比率1000人当たり		
	全国	大阪府	大阪市	全国	大阪府	大阪市	全国	大阪府	大阪市	全国	大阪府	大阪市
令和3年度	500,562	45,989	20,938	79.9	108.1	183.6	97,937	7,250	1,012	30.0	32.5	19.5
令和4年度	551,944	55,504	22,395	89.1	132.0	197.6	111,404	9,357	1,274	34.3	42.3	24.8
令和5年度	588,930	57,634	21,873	96.5	138.9	193.9	122,703	10,473	1,144	38.1	47.7	22.4

3 不登校数

年度	小学校						中学校					
	人数			在籍比率			人数			在籍比率		
	全国	大阪府	大阪市	全国	大阪府	大阪市	全国	大阪府	大阪市	全国	大阪府	大阪市
令和3年度	81,498	6,190	1,673	1.30	1.46	1.47	163,442	11,919	3,934	5.00	5.35	7.59
令和4年度	105,112	7,153	1,866	1.70	1.70	1.65	193,936	13,651	4,430	5.98	6.17	8.62
令和5年度	130,370	8,188	2,227	2.14	1.97	1.97	216,112	14,818	4,917	6.71	6.76	9.61

※令和3年度～令和5年度の小中学校別「暴力行為発生件数」「いじめ認知件数」「不登校数」については、大阪市として独自調査を実施していますので、実数(大阪市)を公表しています。なお、大阪府の比率については公表されている数値をもとに大阪市独自に計算したものを含まず。

なお、令和4年度からは、小学校に義務教育学校前期課程を、中学校に義務教育学校後期課程を含んでいます。

大阪市の不登校支援にかかる各校での対応及び事業

共通

- ・学校安心ルールの活用
- ・スクールソーシャルワーカーの派遣
- ・大阪市版スクールロイヤーの活用
- ・SNS相談の実施
- ・心の天気
- ・相談申告機能

- ・**(新規事業) R6より**
- ◆登校支援室「なごみ」の運営
- ・学習動画コンテンツ配信による支援

一次【未然防止】

不登校が生じない魅力あるよりよい学校づくり

○全児童生徒（164,183人）

(学校の対応)

- ・いじめ、暴力行為を許さない学校づくり
- ・児童生徒の学習状況等に応じた指導・配慮
- ・保護者・地域等の連携・協働体制の構築
- ・将来の社会的自立に向けた生活習慣づくり

二次【早期発見・早期対応】

予兆への対応を含めた初期段階からの早期支援

- ・遅刻・早退及び欠席しがちな児童生徒
- ・登校しても自分の教室に入りづらい児童生徒

(学校の対応)

- ・3日連続欠席した児童生徒への家庭訪問の徹底
- ・全教職員共通理解のもと、組織的・計画的な支援
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携

(新規事業) R6より

◆校内教育支援センター（スペシャルルーム）のモデル設置

三次【個に応じた支援】

多様な教育機会の確保

○不登校児童生徒（7,144人）

- ・自分の教室以外であれば登校できる児童生徒
- ・学習意欲があるが登校できない児童生徒
- ・学びの多様な学校への登校意欲があり、在籍校での支援に加え、関係機関等の支援は受けているものの、在籍校への登校が困難な生徒

(学校の対応)

- ・各校による学習者用端末による自宅学習
- ・家庭訪問
- ・別室による学習等の支援
- ・学校外における公的機関や民間機関等との連携

(新規事業) R6より

◆校内教育支援センター（スペシャルルーム）のモデル設置

(継続事業)

◆教育支援センターの運営

(新規事業)

◆学びの多様な学校（心和中学校）の設置・運営
R6.4.1開校

大阪市の不登校への対応①

大阪市立心和中学校 (学びの多様化学校)

生徒転入の状況

令和6年度	1年生		2年生		3年生		合計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
前期転入	(募集なし)		1	5	6	14	7	19	26
後期転入	5	4	7	17	1	6	13	27	40
合計	5	4	8	22	7	20	20	46	66
	9		30		27		66		

生徒出席の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
出席率	78.4%	67.4%	71.5%	69.8%	74.6%	71.7%	71.7%

※前期転入生26名の状況。6月以降は、家庭でのオンライン学習による出席認定も含む。

令和7年度前期転入の申込状況

令和7年度 前期転入 面談状況	1年生 (新2年生)		2年生 (新3年生)		合計	
	男	女	男	女	男	女
	3	6	2	6	5	12
	9		8		17	

多様な教育活動

- セルフ・クエスト (学び直しの時間)
- キャリア教育の充実 (職場体験)
- 学習菜園
- スクールカウンセラーとの連携

教育支援センター

年間登録者数の推移

R4 : 318名 R5 : 364名

花園 (令和2年6月～)・桃谷・新大阪 (令和3年4月～)

月別登録者数の推移

※数値は小中学生合計

	継続	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
花園	85	2	7	3	3	3	7	110
桃谷	89	6	6	5	5	1	3	115
新大阪	55	3	8	4	0	3	8	81
月ごと合計	-	11	21	12	8	7	18	306
合計	229	240	261	273	281	288	306	306

大阪市の不登校への対応②

登校支援室「なごみ」

- 電話相談（学校・保護者からの不登校相談、心和中学校への転入相談など）
- 心和中学校の10月転入に関する面談・プレスクールの実施 5月～7月（のべ38校46組と面談を実施）
- 保護者サロンの実施 6月（6名）・10月（11名）・11月（12名） ※10月以降は月1回の実施を予定
- 不登校対応に関する他自治体、市内先進校の視察
- 教員対象の不登校対応の研修 10月（小・中学校対象各1回） ※1月・2月に各1回実施予定
- 教育支援センターとの連携会議（月1回）
- 学習動画コンテンツ配信事業（病気等での欠席及び不登校傾向にある児童生徒への支援）の実施
- フリースクール等関係機関との連絡協議会の設置検討

スペシャルサポートルーム モデル設置

モデル校… 4つの各教育ブロックごとに小学校3校・中学校3校の計24校

- 支援員の配置について… 4月(11名)・5月(5名)・6月(3名)・7月(1名)・9月(2名)・10月(2名)
- 備品の配置について… 11月頃～順次納品予定

児童生徒の月活用者数

	4月	5月	6月	7月	平均
支援員配置校数	11	16	19	20	-
平均活用者数(1校あたり)	24.8	37.9	36.4	31.5	32.6
平均活用者数(1日あたり)	1.6	1.8	1.8	1.8	1.75

支援員の経歴

校長
教員・講師
スクールソーシャルワーカー
スクールカウンセラー
日本語指導員
スクールサポートスタッフ など